

## 2 流域及び河川の自然環境

### 2-1 流域の自然環境

円山川は、源を兵庫県朝来市生野町円山に発し、大屋川、八木川、稲葉川等の支川を合わせて豊岡盆地を貫流し、豊岡市において出石川、奈佐川等を合わせ日本海に注いでいる。

源流から八木川合流点までの渓流環境からなる上流部の山地には、アカマツ - サイゴクミツバツツジ群落やコナラ群落等の二次林、及びスギ - ヒノキ植林が混在している。河岸には、ツルヨシ群落が見られ、オイカワ、カワムツ等の魚類が生息している。

八木川合流点から出石川合流点までの中流部は、瀬、淵が連続し、礫河原やムクノキ - エノキ群集から成る河畔林が分布する。アユの産卵場があり、礫河原には、ヤナギタデ群落、カワラハハコ群落などがみられ、シギ、チドリなど鳥類の繁殖場となっている。

支川出石川では、放鳥されたコウノトリが、河川沿いの水田や採草地を餌場として利用する様子が確認されている。また、オオサンショウウオが確認されている。

出石川合流点から河口までの下流部は感潮域となっている。干潟やヨシ原、ワンドなどの円山川の河川環境を特徴づける要素の一つである湿地環境が分布する。ヨシ原は、ツバメのねぐらとなっており、干潟や高水敷は、放鳥されたコウノトリが餌場として利用している。

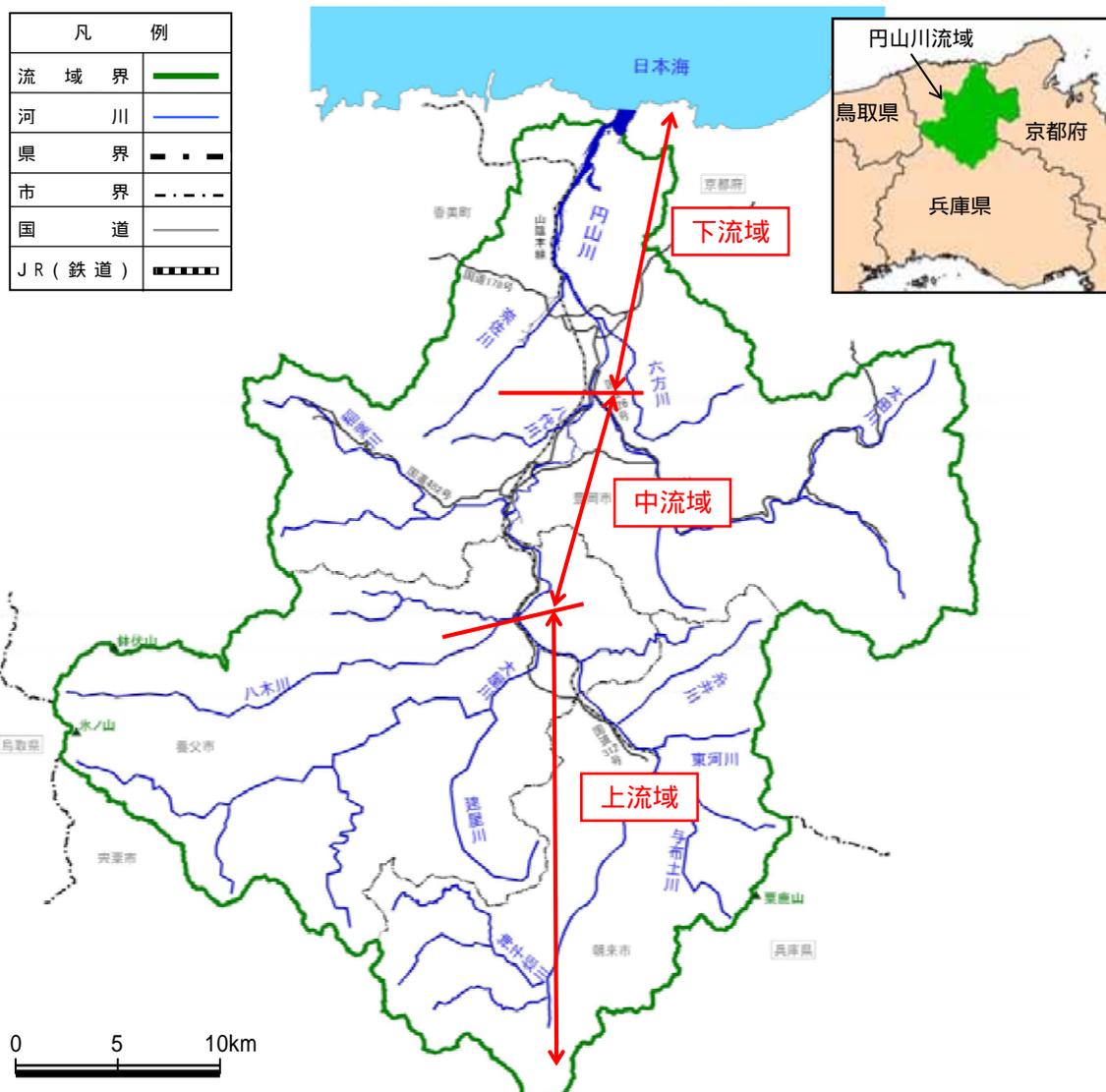


図 2-1 円山川流域区分図

## 2 - 2 河川及びその周辺の自然環境

### 2 - 2 - 1 上流部

源流から八木川合流点までの上流部の山地には、スギ、ヒノキから構成される人工林とアカマツ林等の二次林が混在している。主な水辺植生としては抽水植物群落であるツルヨシ群落が広範囲で分布し、カワムツB型とオイカワが魚類の優占種となっている。

本川上流部の河道内は、流路が蛇行を繰り返すことによる自然の瀬、淵が形成され、河川形態の多様性が維持されている。さらに、砂礫が露出した場所、大きな岩が転がっている場所、山付き部で河畔林が形成されるなど、高い多様性が維持されている。



◀ 円山川（源流部）

円山川（上流部）▶



[上流部に生息する魚類]

カワムツ



オイカワ



## 2-2-2 中流部

八木川合流点から出石川合流点までの中流部は瀬、淵が連続し、アユ等の産卵場があり、カマキリ、アカザ等礫河床の底生魚が生息し、絶滅危惧 A 類に指定されているイチモンジタナゴの生息も確認されている。礫河原には、ヤナギタデ群落、カワラハハコ群落などがみられ、シギ、チドリなど鳥類の繁殖場となっている。

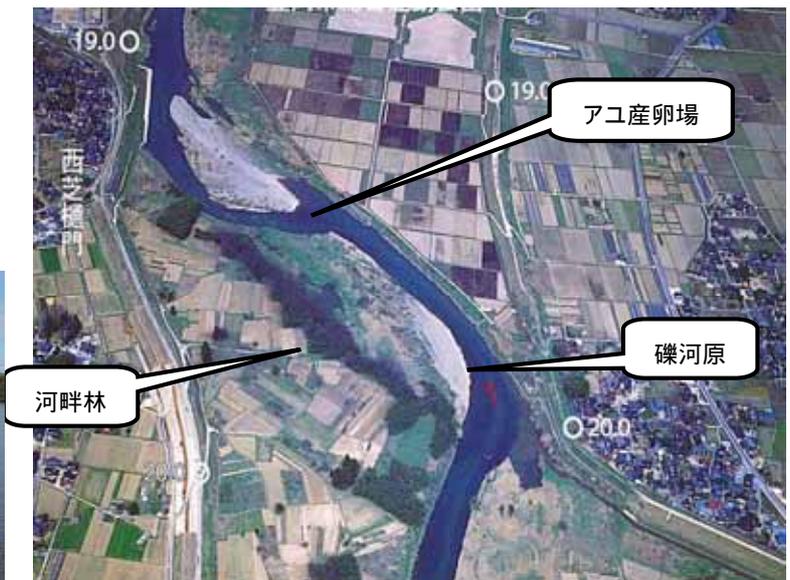
特に感潮域が終わった上流部に位置する中郷・上郷は、蛇行する河道により瀬・淵、礫河原、河畔林、浮き石状態の瀬、ワンドといった複数のハビタットから形成されており、生物生息生育環境の場の多様性が高い。

上郷では、ケヤキ・エノキ・ムクノキからなる大規模な河畔林が存在し、陸上動物の繁殖地、隠れ家として利用される。



◀ 丸山川（稲葉川合流点付近）

丸山川（中郷付近）▶





◀ 円山川（上郷付近）



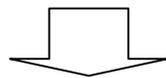
上郷橋から下流を望む

支川出石川では、かつては野生のコウノトリが河川内の湿地環境を餌場の一つとして利用していた。現在、乾田化や河川改修により湿地環境は減少しているものの、放鳥されたコウノトリが、河川沿いの水田や採草地を餌場として利用する様子が確認されている。また、国指定特別天然記念物のオオサンショウウオの生息が確認されている。

出石川（五条大橋付近）



旧河道による湿地環境



湿地が乾田化された状況



コウノトリが訪れている様子

[中流部の生物]

オオサンショウウオ



イチモンジタナゴ



カマキリ



アカザ



カワラハハコ



ヤナギタデ



コウノトリ



### 2-2-3 下流部

出石川合流点付近から河口までの下流部は感潮域となっており、干潟やヨシ原、ワンドなどの円山川の河川環境を特徴づける要素の一つである湿地環境が分布する。

本川河口付近から下流部では、塩沼植物であるシオクグ群落が見られ、汽水域のトンボであるヒヌマイトトンボやナゴヤサナエ等水生昆虫類の良好な生息環境となっている。また、シラウオの産卵場となっているほか、イチモンジタナゴ、ウグイ、ギンブナ等の淡水魚や、ビリンゴ、クボハゼなどの汽水魚やカマキリ等の回遊魚も見られる。

河岸から高水敷きにかけてはヨシ群落、オギ群落が広く分布している。ヨシ原は、オオヨシキリの繁殖地やツバメのねぐらとなり、干潟や高水敷は、放鳥されたコウノトリの餌場となっている。ワンドや抽水植物帯は、魚類の産卵場や仔稚魚の生育場となっている。

また、オオマルバノホロシや、カワヤナギからなる河畔林の分布がみられる。

ひのそ島は、本川下流部における良好な湿地環境の一つであり、平成12年度から、治水事業（河積確保）と環境保全を両立させるために、学識者、漁協、住民、行政による「ひのそ島改修検討会」を実施し、左岸側を半島掘削、右岸側は湿地再生案を採用し、平成19年度に掘削完了した。現在は、ワンドなど多様な湿地環境を有し、貴重な湿地性植物が生育している。また、周辺はシラウオの産卵場となっている。

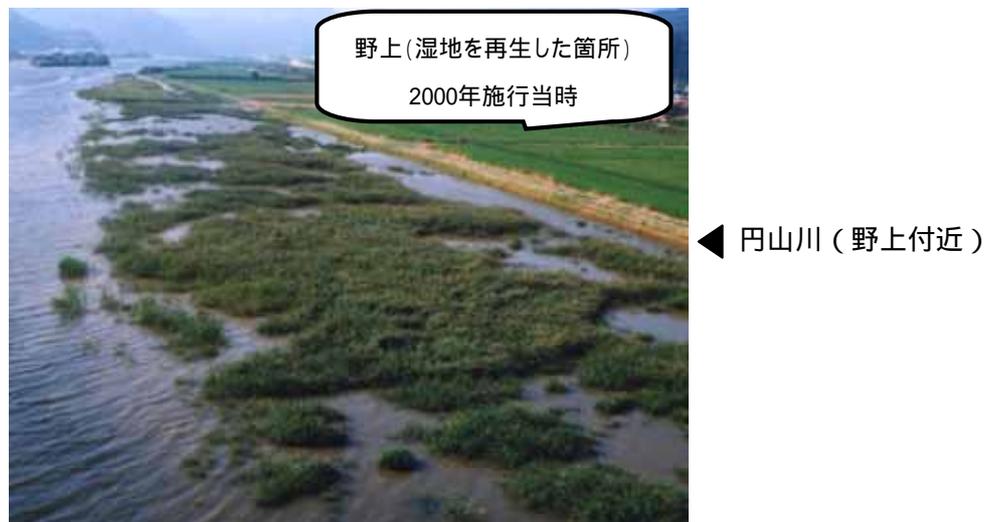
円山川（ひのそ島付近）



下鶴井地区の大規模なワンド、支川流入部は魚類等水生生物の避難場所となり、ワンドとヨシ原等の陸域と接する部分は仔稚魚等の生息場として重要である。また、まとまったヨシ原があり、干潟部には湧水箇所がみられ、底生動物の生産の場となり、生物が豊富で、コウノトリを含む鳥類の貴重な採餌場となっている。



野上地区は、平成 12 年に河積確保の観点から高水敷を年平均水位に切り下げて、湿地再生を目指したものである。何度かの出水を経験し、年平均水位で切り下げた湿地は陸地化する傾向にある。



現在、河川激甚災害対策特別緊急事業の河道掘削に併せ湿地を再生している。湿地を再生した箇所にもコウノトリが飛来する状況も確認されている。

湿地再生(円山大橋上流付近)



湿地再生(円山川と出石川の合流付近)



湿地再生した箇所に飛来した放鳥コウノトリ  
(立野付近 H19.2)

[下流部の生物]

ヒヌマイトトンボ



オオヨシキリ



コウノトリ



シラウオ



ウグイ



ギンブナ



ピリngo



グボハゼ

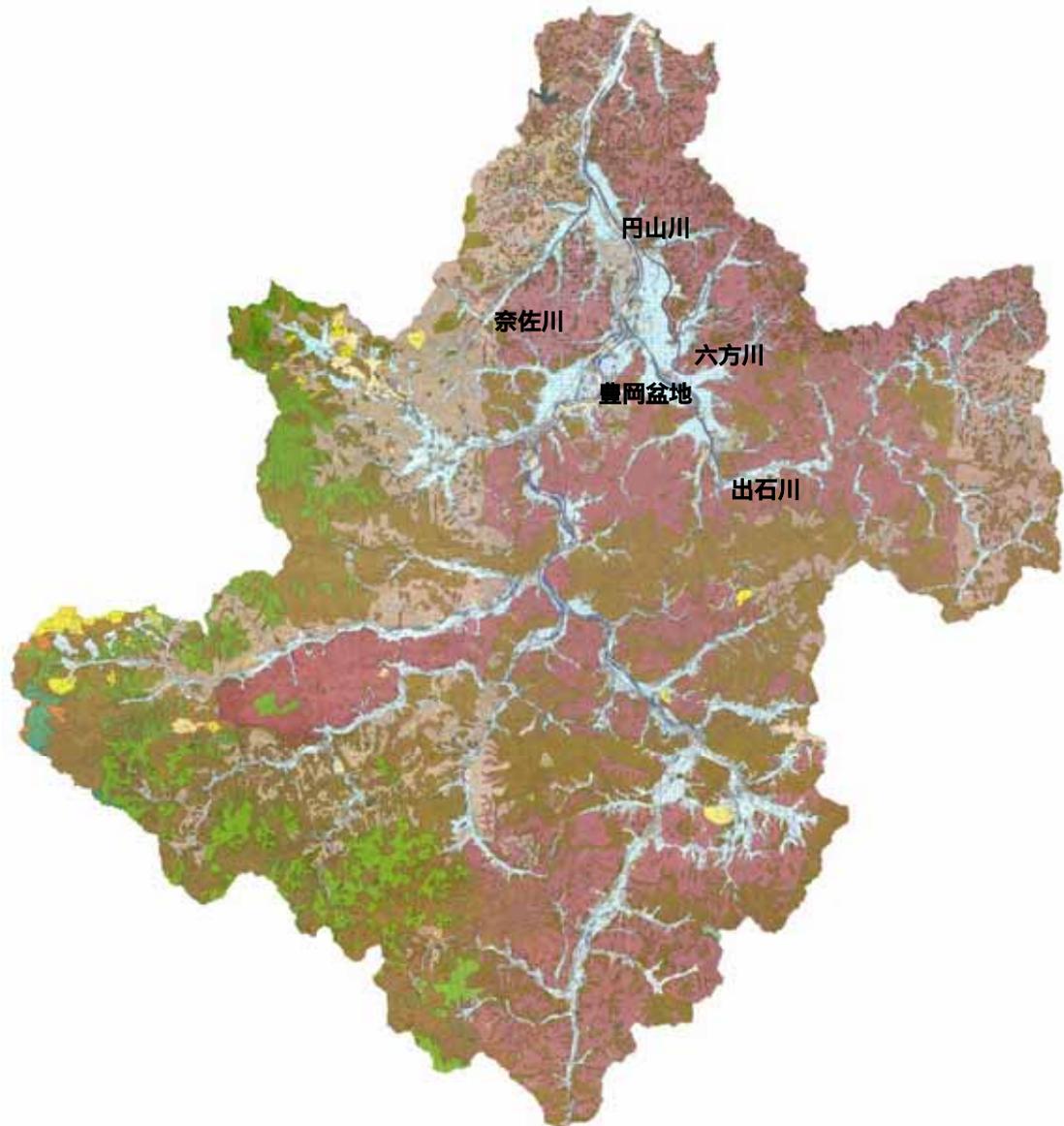


シオクグ



オオマルバノホロシ





出典：現存植生図 1:50,000 環境庁 1982

図 2-2 円山川流域植生図

2-2-4 円山川における重要な種

河川水辺の国勢調査等の結果をもとに、学術上又は希少性等の観点から「重要種」を抽出した。選定に当たっては、「文化財保護法」、「絶滅の恐れのある野生動植物の種の保存に関する法律」等の法律で定められた種、及び「環境省 絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト」や地方版のレッドデータブック（近畿地区、兵庫県）等の掲載種とした。

表 2-1(1) 円山川水系貴重種

生息する貴重種	種名等	特定種選定基準					
		文化財	種保存法	国RL(新)	近畿RDB	県RDB	他
魚介類	アカサ			危惧		兵B	
	アカテガニ					兵C	
	アブラハヤ					兵B	
	アリアケモドキ					兵A	
	イチモンシタナゴ			危惧 A		兵B	
	ウキゴリ					兵要調	
	ウナギ			不足			
	ウネナシトマヤガイ			準絶滅		兵A	
	エドハゼ			危惧		兵A	
	オオタニシ			準絶滅			
	オオヨシノホリ					兵B	
	カセヒラ					兵B	
	カマキリ			危惧		兵B	
	カワアイガイ			危惧		兵A	
	カワヒガイ			準絶滅		兵C	
	クボハゼ			危惧 B		兵A	
	クロヘンケイガニ					兵C	
	ケンゴロウフナ			危惧 B			
	コウライモロコ					兵C	
	サクラマス(在来個体群)			準絶滅		兵A	
	サケ					兵A	
	シユスカケハゼ					兵A	
	シラウオ					兵A	
	シラタエビ					兵B	
	シロウオ			危惧		兵A	
	スコモロコ			準絶滅			
	スナヤツメ			危惧			
	チチブ					兵要調	
	トウヨシノホリ(宍道湖型)					兵A	
	トサカキンボ					兵A	
	トシヨウ					兵B	
	ハス			危惧			
	ヒモハゼ			準絶滅			
	マシジミ			準絶滅			
	マルタニシ			準絶滅			
	ミズレヌマエビ					兵B	
	ミナヌマエビ					兵地	
	ミスハゼ					兵要調	
	メダカ			危惧		兵C	
	モノアラガイ			準絶滅			
ヤマトシジミ			準絶滅		兵B		
ヤリタナゴ			準絶滅		兵B		
ワカサギ(在来個体群)					兵A		
底生動物	アカテガニ					兵C	
	アラムシロガイ					兵C	
	アリアケモドキ					兵A	
	ウネナシトマヤガイ			準絶滅		兵C	
	エビシヤコ					兵C	
	オキシジミ					兵要注	
	オシロサナエ					兵地	
	カワアイガイ			危惧			
	カワサンショウガイ					兵C	
	キイロヤマトンボ			準絶滅		兵A	
	クロタカワニナ			準絶滅			
	クロヘンケイガニ					兵C	
	コオイムシ			準絶滅		兵要注	
	ナガオカモノアラガイ			準絶滅			
	ナゴヤサナエ			準絶滅		兵B	
ヒラマキガイモドキ			準絶滅				

表 2-1(2) 円山川水系貴重種

生息する貴重種	種名等	特定種選定基準					
		文化財	種保存法	国RL(新)	近畿RDB	県RDB	他
底生動物	ヒラマキヌマイマイ			不足			
	ホソウミナ					兵C	
	マシジミ			準絶滅			
	ミゾレヌマイ					兵B	
	ミナヌマイ					兵地	
	ミヤマサナエ					兵C	
	モノアラガイ			準絶滅			
	ヤマトシジミ			準絶滅		兵B	
	ヨコソドロムシ			危惧		兵要調	
	ヨコヤアナシヤコ					兵C	
両生類・爬虫類・哺乳類	オオサンショウウオ	特天		危惧		兵B	
	ジネズミ					兵要注	
	ジムグリ					兵要注	
	シュレ-ゲルアオガエル					兵C	
	ツチガエル					兵C	
	ニホンアカガエル					兵C	
	ヒハカリ					兵要注	
	モリアオガエル					兵B	
ヤマアカガエル					兵C		
鳥類	アオアシシギ				準絶滅		
	アオシ				準絶滅	兵C	
	イカルチドリ				準絶滅		
	イソシギ				絶危	兵C	
	ウミネコ				危険なし		
	オオシシギ			準絶滅	準絶滅	兵B	
	オオタカ		国内	準絶滅	準絶滅	兵B	
	オオハクチョウ				絶危		
	オオハン				準絶滅		
	オオヨシキリ				準絶滅	兵B	
	オシドリ			不足	準絶滅	兵C	
	カクコウ				準絶滅	兵C	
	カワアイサ				準絶滅		
	カワセミ				準絶滅	兵B	
	カンムリカイツブリ				準絶滅		
	キアシシギ				準絶滅		
	キビタキ				準絶滅	兵C	
	クサシギ				準絶滅		
	コアシサシ		国際	危惧	絶危	兵C	
	コウノトリ	特天	国内	危惧 A		兵不見	
	コチドリ				準絶滅	兵要注	
	コムクドリ				準絶滅		
	コヨシキリ				準絶滅	兵C	
	ササゴイ				準絶滅	兵C	
	サンカノゴイ			危惧 B	絶危	兵C	
	サンショウクイ			危惧	準絶滅	兵B	
	シロチドリ				準絶滅		
	セッカ				危険なし	兵要注	
	センダイムシクイ				準絶滅		
	タゲリ				準絶滅		
	タシギ				準絶滅	兵B	
	チュウサギ			準絶滅	準絶滅	兵C	
	チュウビ			危惧 B	危機絶危	兵A	
	チョウゲンボウ				準絶滅		
	ノジコ			準絶滅	準絶滅	兵C	
	ノスリ				準絶滅		
	ヒタキ				準絶滅	兵C	
	ハイロチユビ				絶危		
	ハイタカ			準絶滅	危険なし	兵B	
	ハクセキレイ				危険なし		
ハマシギ				準絶滅			
ハヤブサ		国内	危惧	準絶滅	兵B		
ヒシクイ			危惧	準絶滅	兵不見		
ホトギス				準絶滅			
マガモ				準絶滅	兵C		
ミコアイサ				準絶滅			
ミサコ			準絶滅	絶危	兵A		
ミヤマホオジロ				準絶滅			
ルビタキ				準絶滅	兵C		

表 2-1(3) 円山川水系貴重種

生息する貴重種	種名等	特定種選定基準					
		文化財	種保存法	国RL(新)	近畿RDB	県RDB	他
陸上昆虫類	アオサナエ					兵C	
	アオハダトンボ					兵A	
	アオヤンマ					兵要注	
	カトリヤンマ					兵要調	
	カヤキリ					兵要注	
	キイロヤマトンボ			準絶滅		兵A	
	コオイムシ			準絶滅		兵要注	
	コハネササキリ					兵要注	
	シッチコモリグモ					兵A	
	シユウホシテントウ					兵C	
	シユウサンホシテントウ					兵C	
	ススムシ					兵要注	
	ツマグロキチョウ			危惧			
	トゲナナフシ					兵地	
	ナゴヤサナエ			準絶滅		兵B	
	ハラグロオオテントウ					兵要注	重要
	ヒゲシロス					兵要調	
	ヒヌマイトトンボ			危惧		兵A	学識
	ヒメカマキリ					兵要注	
	ヒメサクラコガネ					兵要調	
	ヒメサナエ					兵B	
	ホソサナエ					兵B	
	マタラコガシラミスムシ			準絶滅		兵要注	
	マメハシムシ					兵要注	
	ムスシイトトンボ					兵要注	
	ヤマトアオドウガネ					兵要調	
	ヤマトモンシテムシ			準絶滅			
	植物	アキサキヤツシロラン					兵A
イワウメツル					近畿B	兵B	
エゾウキヤガラ						兵B	
エゾミソハキ					近畿B	兵A	
オオアカウキクサ				危惧	準絶滅	兵A	
オオクダネツケハナ						兵C	
オオマルハノホロシ					近畿C	兵A	
カワチシャ				準絶滅	準絶滅	兵C	
カワラハハコ					近畿B	兵B	
コガマ					近畿C	兵B	
コキツル						兵C	
コブシ					近畿C		
サクラハハノキ				準絶滅		兵C	
サデクサ					近畿C		
サンショウモ				準絶滅	近畿C	兵B	
シオクグ					近畿C		
タウコギ						兵C	
タコアシ				準絶滅	近畿C	兵B	危急
ハマオモト					近畿B		
ハンゲショウ						兵C	
ヒメシロアサザ				危惧	近畿A	兵A	危急
ヒメナミキ					近畿C	兵B	
ヒロードスゲ					近畿C	兵C	
フジハカマ				準絶滅	近畿A	兵B	危惧
ホソハイヌタデ				準絶滅	近畿A	兵A	
マツカサススキ					近畿C	兵C	
ミクリ				準絶滅	近畿A	兵B	危急
ミスアオイ				準絶滅	近畿A	兵A	危急
ミスマツハ				危惧		兵C	
ミスワレビ					準絶滅	兵C	
ミツデカエデ						兵C	
メノマンネングサ						兵C	
ヤナキヌカホ			危惧		兵B		
ヤマアマドコロ					兵要調		

表 2-1(4) 円山川水系貴重種の凡例一覧

文化財：文化財保護法	県RDB：改訂・兵庫の貴重な自然-兵庫県版レッドデータブック2003-
特天：特別天然記念物	兵不見：今見られない
国天：国指定天然記念物	兵A：Aランク
種保存法：種の保存に関する法律	兵B：Bランク
国内：国内希少野生動植物種	兵C：Cランク
国際：国際希少野生動植物種	兵要注：要注目種
国RL：環境省 絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト(2006.12.22、2007.08.03発表)	兵地：地域限定貴重種
絶滅：絶滅種(Ex)	兵要調：要調査種
野絶滅：野生絶滅(EW)	他：その他特定種
危惧：絶滅危惧類(CR+EN)	学識：学歴経験者意見
危惧 A：絶滅危惧1A類(CR)	自然：「第1回緑の国勢調査」における「すぐれた自然の調査」対象種 環境庁指定種
危惧 B：絶滅危惧1B類(EN)	重要：「第2回緑の国勢調査」における「日本の重要な昆虫類」環境庁指定種
危惧：絶滅危惧2類(VU)	危惧：我が国における保護上重要な植物種の現状 絶滅危惧種(EX)
準絶滅：準絶滅危惧(NT)	危急：我が国における保護上重要な植物種の現状 危急種(V)
不足：情報不足(DD)	
地域：地域個体群(Lp)	
近畿RDB：近畿地区鳥類レッドデータブック2002	
改訂・近畿地方の保護上重要な種-レッドデータブック2001-	
危機絶危：危機的絶滅危惧	絶滅：絶滅
絶危：絶滅危惧	近畿A：絶滅危惧Aランク
準絶滅：準絶滅危惧	近畿B：絶滅危惧Bランク
危険なし：特に危険なし	近畿C：絶滅危惧Cランク 準絶滅：準絶滅危惧種

## 2-3 特徴的な河川景観や文化財等

### 2-3-1 観光・景勝地

円山川流域は、豊かな自然環境を有し、円山川と周囲の山々が調和して清涼な自然景観を楽しませ、情緒豊かな河川景観は観光資源としても活かされている。流域の一部は、山陰海岸国立公園、氷ノ山後山那岐山国定公園などの自然公園にも指定され、城崎温泉は古くから湯治場として栄え、現在も多くの観光客を集めている。

また玄武洞は昭和6年に国の天然記念物の指定を受けた洞窟群であり、柱状節理の発達した岩肌をよく保存した公園施設と整備された博物館が多くの人々に親しまれている。

表 2-1 円山川流域の主な観光資源

	観光地、レクリエーション施設名	関係市		観光地、レクリエーション施設名	関係市
1	兵庫県円山川公苑	豊岡市	14	大藪古墳群	養父市
2	円山川下り屋形船	豊岡市	15	かいこの里交流施設	養父市
3	城崎温泉	豊岡市	16	石ヶ堂古代村	養父市
4	玄武洞公園	豊岡市	17	山田風太郎記念館	養父市
5	兵庫県立コウノトリの郷公園	豊岡市	18	あけのべ自然学校	養父市
6	阿瀬溪谷	豊岡市	19	ほたるの里	養父市
7	出石温泉館	豊岡市	20	福定親水公園	養父市
8	赤花そばの郷	豊岡市	21	とが山自然文化園	養父市
9	植村直己冒険館	豊岡市	22	寺町通り	朝来市
10	但馬長寿の郷	養父市	23	千年家	朝来市
11	道の駅やぶ「グリーンビレッジ」	養父市	24	ヒメハナ公園	朝来市
12	横行溪谷	養父市	25	銀山湖	朝来市
13	あゆ公園	養父市			

出典) 関係市町パンフレット

(円山川下り屋形船)



(玄武洞)



(城崎温泉)



(兵庫県立コウノトリの郷公園)



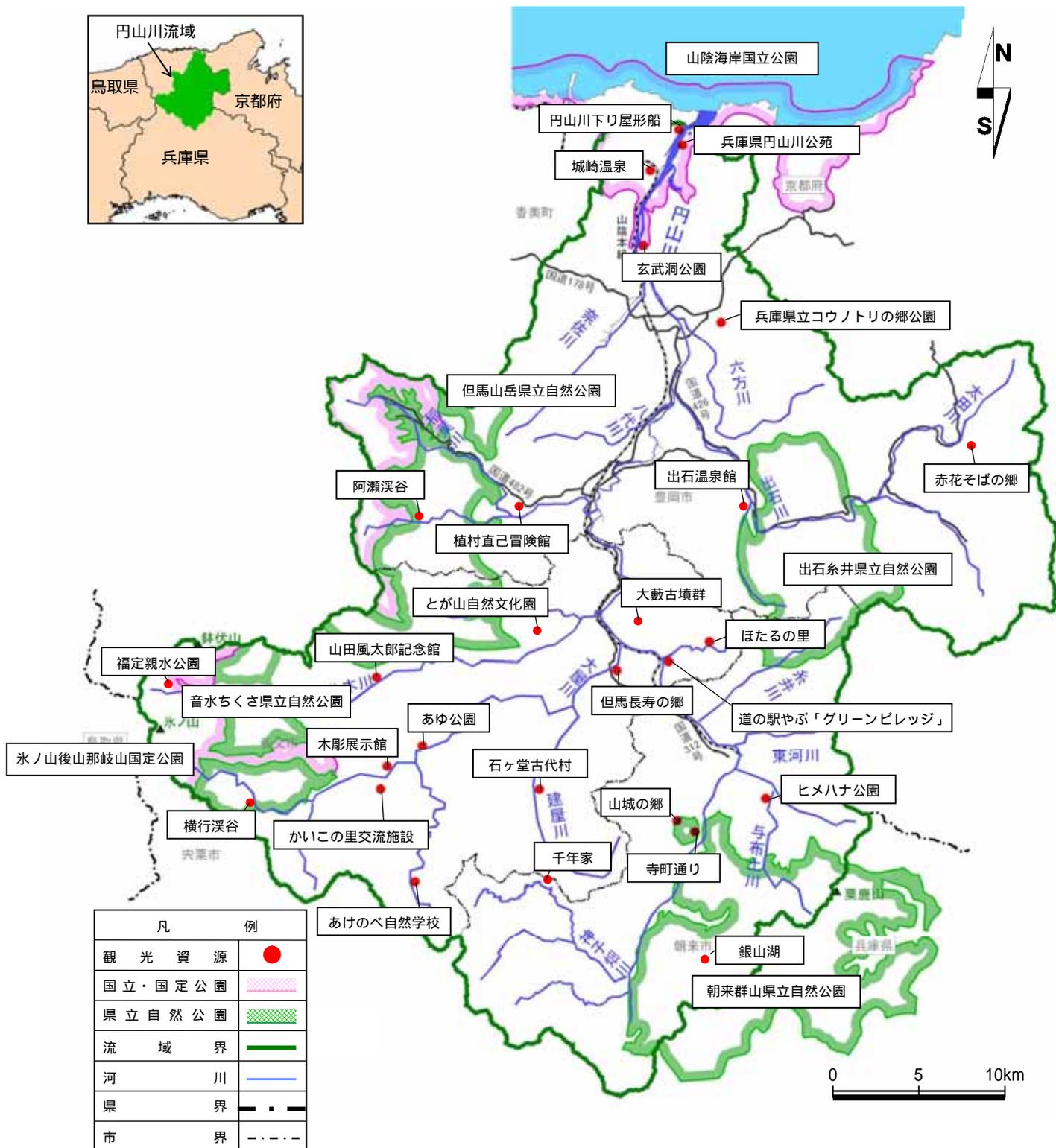


図 2-1 円山川流域における主な観光施設位置図

2-3-2 文化財（史跡・名勝・天然記念物）

円山川流域には、国指定の史跡6物件、名勝1物件、天然記念物7物件、県指定の史跡15物件、名勝1物件、天然記念物27物件がある。

表 2-2（1） 円山川流域の文化財（史跡・名勝・天然記念物）

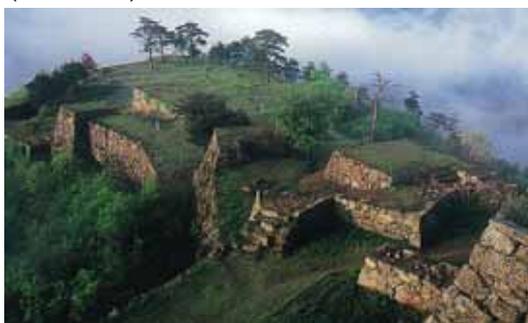
国指定の文化財

種別	名称	指定年月日	所在地	備考
1 史	但馬国分寺跡	平成 2.12.26	豊岡市	
2 史	山名氏城跡 此隅山城跡 有子山城跡	平成 8.11.13	豊岡市	
3 史	箕谷古墳群	平成 4.12.18	養父市	
4 史	八木城跡	平成 9. 3. 6	養父市	
5 史	竹田城跡	昭和18. 9. 8	朝来市	
6 史	茶すり山古墳	平成16. 2.27	朝来市	
7 名勝	旧大岡寺庭園	平成元. 9.22	豊岡市	
8 天	玄武洞	昭和 6. 2.20	豊岡市	
9 天	畑上の大トチノキ	昭和26. 6. 9	豊岡市	
10 天	建屋のヒダリマキガヤ	昭和26. 6. 9	養父市	
11 天	口大屋の大アベマキ	昭和26. 6. 9	養父市	
12 天	樽見の大ザクラ	昭和26. 6. 9	養父市	
13 天	糸井の大カツラ	昭和26. 6. 9	朝来市	
14 天	八代の大ケヤキ	昭和 3. 3.24	朝来市	
天	コウノトリ	昭和28. 3.31	兵庫県立 コノトリの郷公園	

注) 史：史跡，名勝：名勝，天：天然記念物

出典)兵庫県教育委員会ホームページ

(竹田城跡)



(樽見の大ザクラ)



(八代の大ケヤキ)



表 2-2 (2) 円山川流域の文化財(史跡・名勝・天然記念物)

## 県指定の文化財

種別	名称	指定年月日	所在地	備考
1 史	中谷貝塚	昭和63. 3.22	豊岡市	個人所蔵
2 史	三宅瓦窯跡	平成14. 4. 9	豊岡市	慈等寺
3 史	二見谷古墳群	昭和50. 3.18	豊岡市	個人所蔵
4 史	ケゴヤ古墳	平成 3. 3.30	豊岡市	城崎町
5 史	楯縫古墳	昭和52. 3.29	豊岡市	個人所蔵
6 史	青谿書院	昭和45. 3.30	養父市	青谿書院保存会
7 史	国木とが山古墳群(国木上山古墳を含む)	昭和49. 3.22	養父市	八鹿町・個人所蔵
8 史	観音塚古墳	昭和54. 3.20	養父市	東上野区
9 史	禁裡塚古墳(大藪三号墳)	昭和61. 3.25	養父市	個人所蔵
10 史	西ノ岡古墳	昭和63. 3.22	養父市	個人所蔵
11 史	塚山古墳	昭和63. 3.22	養父市	個人所蔵
12 史	こうもり塚古墳	昭和63. 3.22	養父市	個人所蔵
13 史	別宮家野遺跡	昭和47. 3.24	養父市	関宮町
14 史	小丸山古墳	昭和49. 3.22	朝来市	和田山町
15 史	船之宮古墳	昭和36. 8.23	朝来市	朝来町
16 名勝	宗鏡寺本堂庭園	昭和47. 3.24	豊岡市	宗鏡寺
17 天	絹巻神社の暖地性原生林	昭和40. 3.16	豊岡市	絹巻神社
18 天	白藤神社の大モミ	昭和40. 3.16	豊岡市	白藤神社
19 天	小江神社の大ケヤキ	昭和43. 3.29	豊岡市	小江神社
20 天	鎌田のイヌマキ	平成 2. 3.20	豊岡市	個人所蔵
21 天	栃本の溶岩瘤	昭和42. 3.31	豊岡市	兵庫県
22 天	栃が谷平のアスナロ群生	昭和43. 3.29	豊岡市	万却区
23 天	長楽寺のチリツバキ	昭和53. 3.17	豊岡市	長楽寺
24 天	天神社のトチノキ	平成17. 3.18	豊岡市	万場区
25 天	一宮神社のケヤキの森	昭和61. 3.25	豊岡市	一宮神社
26 天	積徳の松 (名称変更)伊佐の黒松(久恩の松)	昭和38. 8.24 昭和39. 6. 5	養父市	個人所蔵
27 天	玉水神社のムクノキ林	昭和55. 3.25	養父市	玉水神社
28 天	養父町堀畑のハコネウツギ	昭和55. 3.25	養父市	個人所蔵
29 天	古千本・千本杉の奥山湿生植物群落	昭和50. 3.18	養父市	林野庁
30 天	加保坂のミズバショウ自生地	昭和51. 3.23	養父市	加保区
31 天	加保坂の硬玉ヒスイ原石露頭	昭和58. 3.29	養父市	大屋町
32 天	一宮神社社叢	昭和59. 3.28	養父市	一宮神社
33 天	栲幡原神社のカシ林	昭和61. 3.25	養父市	栲幡原神社
34 天	上森神社のシラカシ大木	昭和61. 3.25	養父市	上森神社
35 天	男坂神社のシラカシ林	昭和61. 3.25	養父市	男坂神社
36 天	鉢伏高原のヤマドリゼンマイ群落5ヶ所	昭和40. 3.16	養父市	大久保部落
37 天	別宮の大カツラ	昭和40. 3.16	養父市	別宮部落
38 天	古生沼の高地湿原植物群落	昭和40. 3.16	養父市	林野庁
39 天	古千本・千本杉の湿生植物群落	昭和47. 3.24	養父市	関宮町
40 天	鉢伏高原のミツガシワ自生地	昭和57. 3.26	養父市	丹戸区
41 天	大久保の大杉(ホードー杉)	平成 3. 3.30	養父市	大久保地区
42 天	別宮のオキナグサ自生地	平成17. 3.18	養父市	別宮区
43 天	ウツギノヒメハナバチ群生地	昭和59. 3.28	朝来市	楽音寺

注) 史: 史跡, 名勝: 名勝, 天: 天然記念物

出典) 兵庫県教育委員会ホームページ

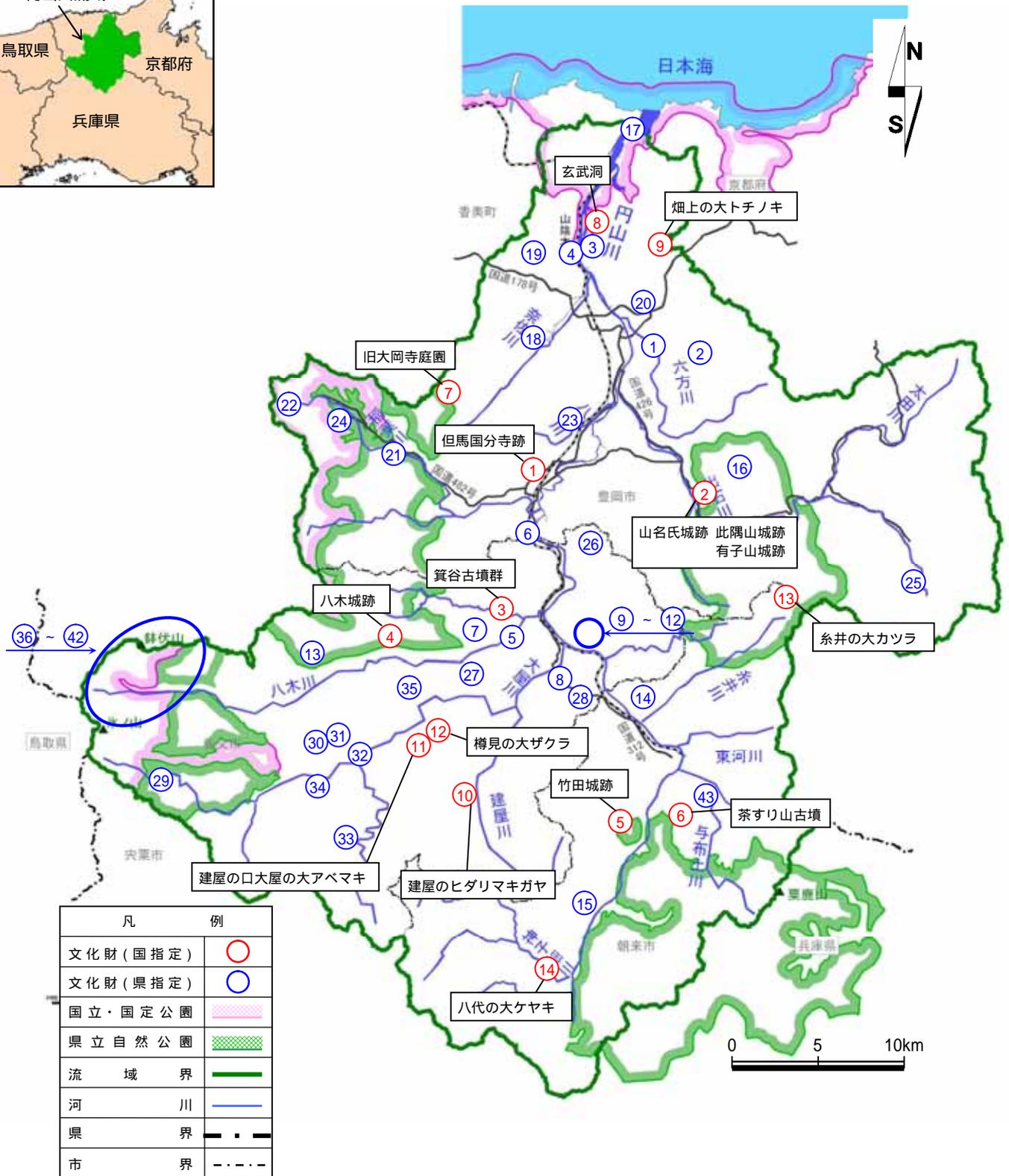


図 2-2 文化財(史跡・名勝・天然記念物)位置図

## 2-4 自然公園等の指定状況

### 2-4-1 円山川流域内の公園

円山川流域は自然環境に恵まれた地域が数多く存在しており、下記のとおり公園等が指定されている。

表 2-3 自然公園等指定状況

種別	名称	指定年月日	面積(ha)
国立公園	山陰海岸国立公園	昭和 38 年 07 月 15 日	6,061
国定公園	氷ノ山後山那岐山国定公園	昭和 44 年 04 月 10 日	25,200
県立自然公園	音水ちくさ県立自然公園	昭和 33 年 11 月 21 日	9,756
	但馬山岳県立自然公園	昭和 34 年 07 月 21 日	33,083
	出石糸井県立自然公園	昭和 36 年 03 月 30 日	7,578
	朝来群山県立自然公園	昭和 33 年 11 月 21 日	14,766

出典) 出典：「兵庫の自然ふれあいマップ 平成 16 年 3 月 兵庫県」

### 2-4-2 円山川流域内の鳥獣保護法設置区域

円山川流域では、鳥獣保護法により銃猟禁止区域、保護区等が以下のとおり設定されている。

表 2-4 鳥獣保護区等指定状況

区分	名称	区分	名称
鳥獣保護区	1 城崎鳥獣保護区	銃猟禁止区域	1 円山川公苑銃猟禁止区域
	2 楽々浦鳥獣保護区		2 戸島銃猟禁止区域
	3 野上鳥獣保護区		3 豊岡・城崎円山川沿岸銃猟禁止区域
	4 豊岡東部鳥獣保護区		4 豊岡・日高円山川銃猟禁止区域
	5 豊岡南部鳥獣保護区		5 六方川銃猟禁止区域
	6 八鹿妙見山鳥獣保護区		6 但馬空港銃猟禁止区域
	7 鉢高原鳥獣保護区		7 日高町猪爪銃猟禁止区域
	8 氷ノ山鳥獣保護区		8 目坂銃猟禁止区域
	9 須留ヶ峰鳥獣保護区		9 猪子垣銃猟禁止区域
	10 西山鳥獣保護区		10 円山川沿岸銃猟禁止区域
	11 つるぎ山・とが山銃猟禁止区域		
	12 鉢伏高原銃猟禁止区域		
	13 氷ノ山山麓銃猟禁止区域		
	14 天滝銃猟禁止区域		
	15 奥若杉銃猟禁止区域		
	16 佐のう高原銃猟禁止区域		
	17 迫間銃猟禁止区域		
	18 青倉山銃猟禁止区域		
	19 多々良木ダム銃猟禁止区域		

出典) 平成 17 年度兵庫県鳥獣保護区等位置図

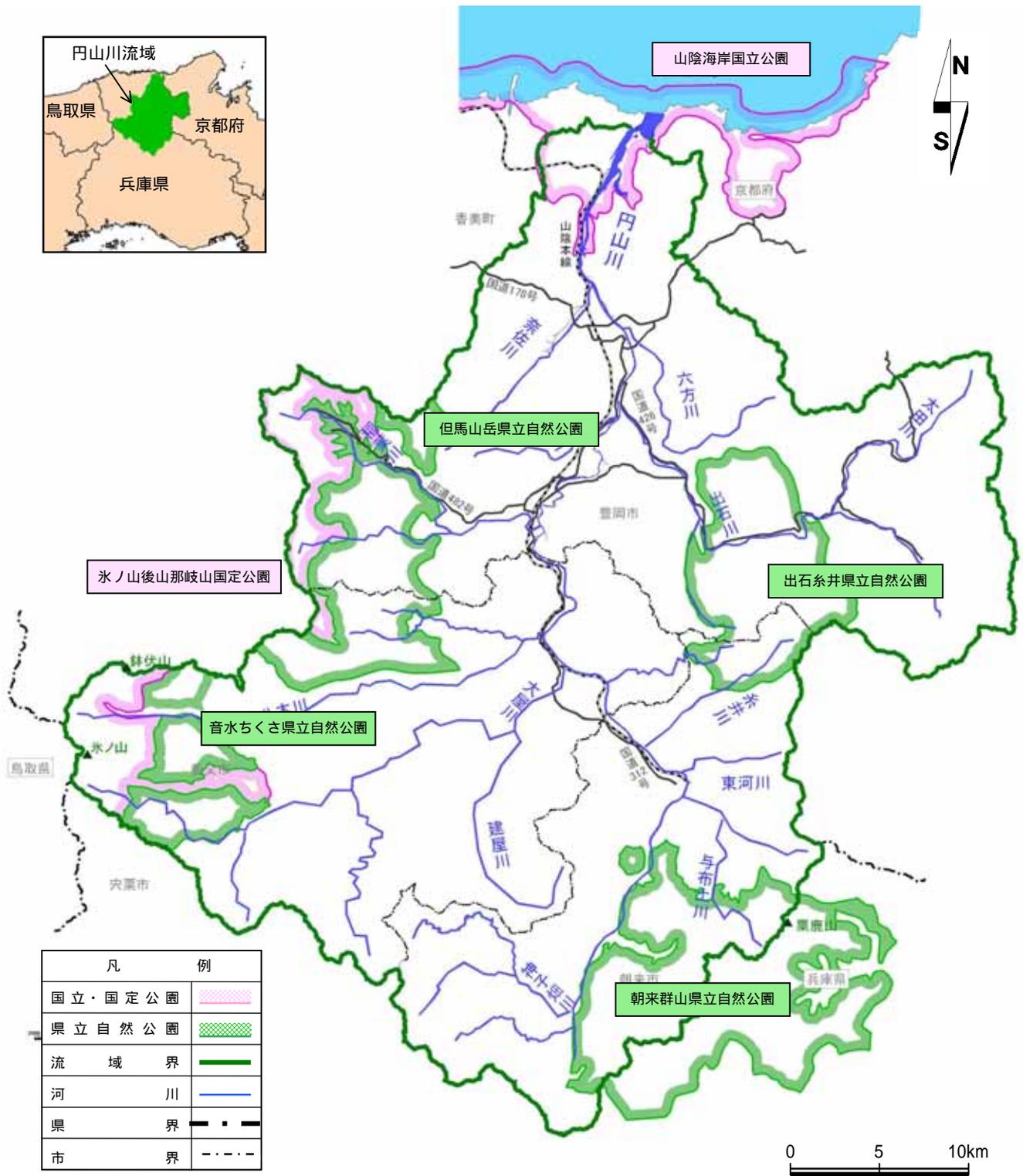


図 2-3 自然公園等位置図

(出典：「兵庫の自然ふれあいマップ 平成 16 年 3 月 兵庫県」)

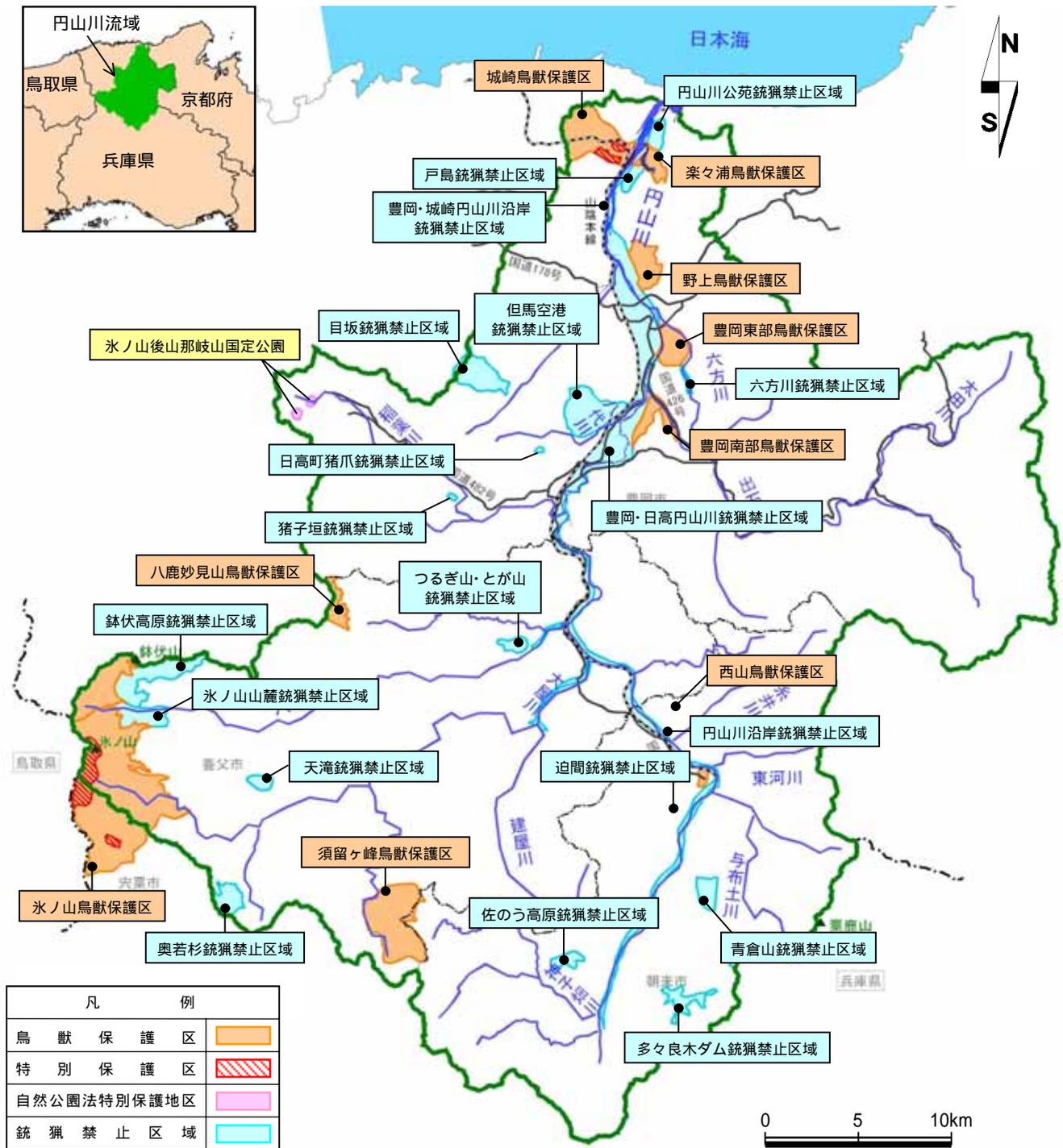


図 2-4 円山川流域の鳥獣保護区位置図  
 (出典:「平成 17 年度兵庫県鳥獣保護区等位置図」)